

17. 中原3080-1番地遺跡

所在 地 小淵沢町字中原3080-1

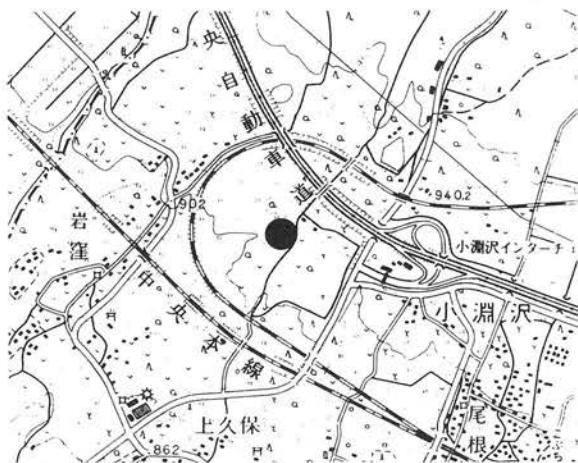
調査 原因 別荘建設

調査 期間 1999年11月6日～11月8日

調査 面積 50m²

調査 主体 小淵沢町教育委員会

担当 者 佐藤勝廣



立地と経過

中原3080-1番地遺跡は、小淵沢町西部の標高900m付近に所在し、南西から南に向かう舌状台地に立地する。隣接地は、中央自動車道路建設に伴って調査が実施された中原遺跡地域であり、縄文時代から平安時代にいたる遺構・遺物が高い密度で多数確認されている。町内でも屈指の重要遺跡所在地である。

今回、当地で別荘建設が計画されたため、試掘調査を実施し、遺構の状況を確認する必要が生じた。

調査結果

建設に際し掘削が予定される、建物部分全体を覆うようなトレンチを設定して遺構の確認に努めたが、極めて微量の縄文土器片が出土したが、遺構は確認されなかった。

18. 上前後沢4294-3番地遺跡

所在 地 小淵沢町字上前後沢4294-3

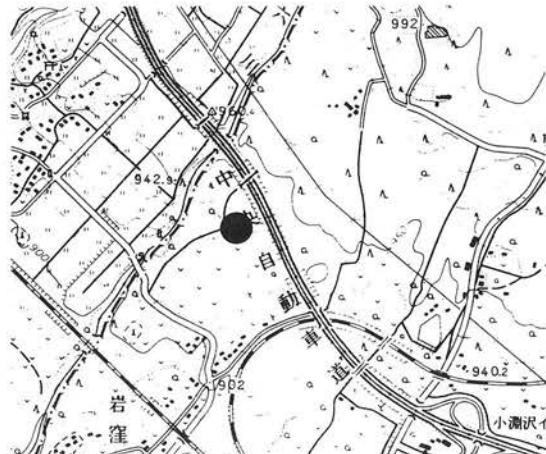
調査 原因 個人住宅建設

調査 期間 1999年11月22日～11月27日

調査 面積 74m²

調査 主体 小淵沢町教育委員会

担当 者 佐藤勝廣



立地と経過

上前後沢4294-3番地遺跡は、長野県と山梨県の境の甲六川西岸の台地上にあり、標高940mを測る。今回、当地で個人住宅建設が計画されたため、事前に試掘調査を実施する必要が生じた。

調査結果

踏査を行い、僅かに縄文中期の土器片数点を採集した。いずれも細片で図示できる資料はなかった。掘削が予定される建物部分について、幅約1mのトレンチを1本南北に設定し、調査を行った。その結果、遺構・遺物ともに確認されなかった。